

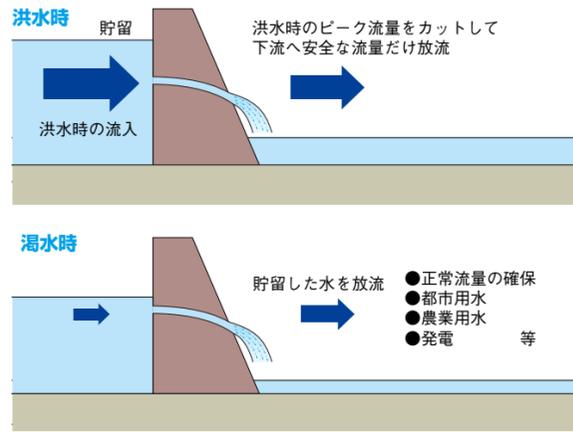
6 河川総合開発事業とその治水・利水の仕組み

① 多目的ダム建設事業

ダムによって洪水を一時的に貯留するための容量を確保し、洪水時のピーク流量をカットすることにより、下流河川の洪水を防御します。また、河川水を貯留するための容量を確保し、この容量を使用して河川流量が豊富な時には河川水を貯留し、流量が減少した時に放流することにより、下流河川の流量を一定にして都市用水等の安定取水を可能にします。



温井ダム(中国地方整備局)

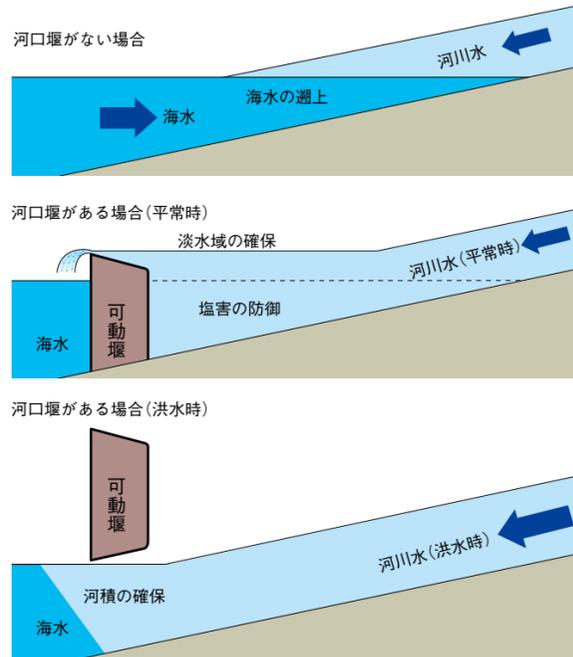


② 河口堰等建設事業

河口堰はダムと同じように河川水を貯留するための容量を確保して安定取水を可能にする場合と、海水の遡上を防ぎ淡水域を生み出すことにより安定取水を可能にする場合があります。また洪水の流下に必要な河積を確保します。



長良川河口堰(水資源機構)

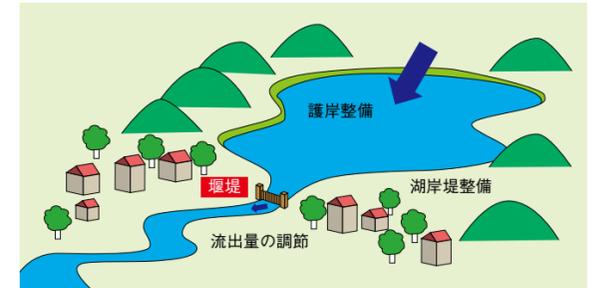


③ 湖沼開発事業

湖岸堤や堰の築造、護岸整備等により、湖沼の周辺地域や下流地域の洪水防御および湖沼からの流出量を制御することによって新たな水資源開発を行います。



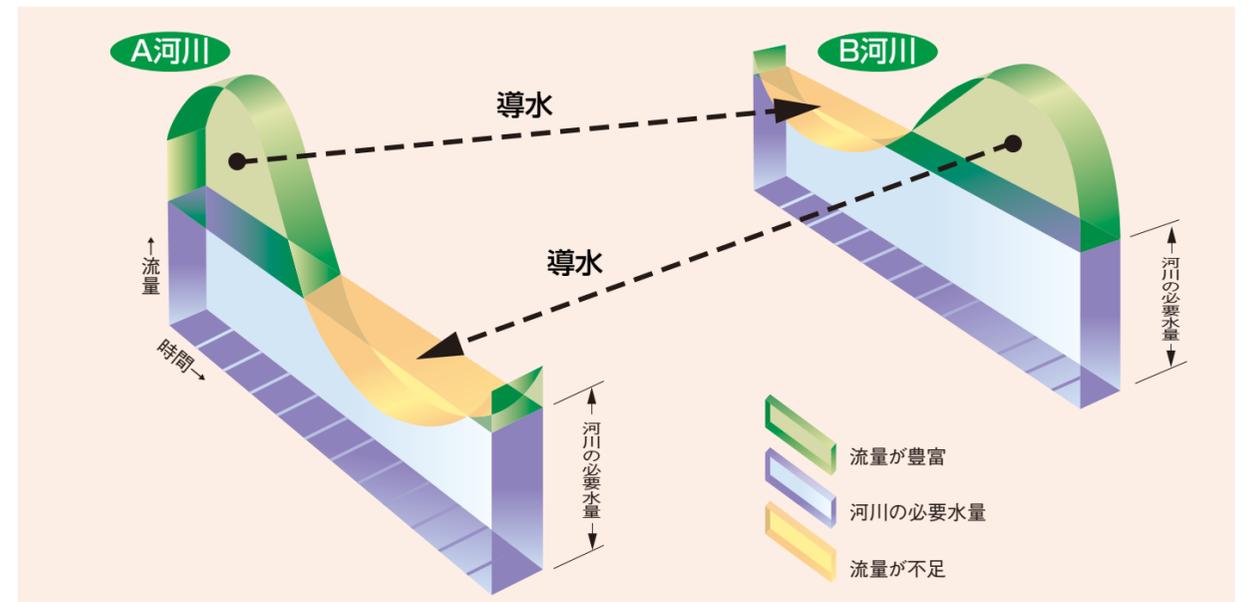
霞ヶ浦開発(水資源機構)



湖岸堤(霞ヶ浦開発、水資源機構)

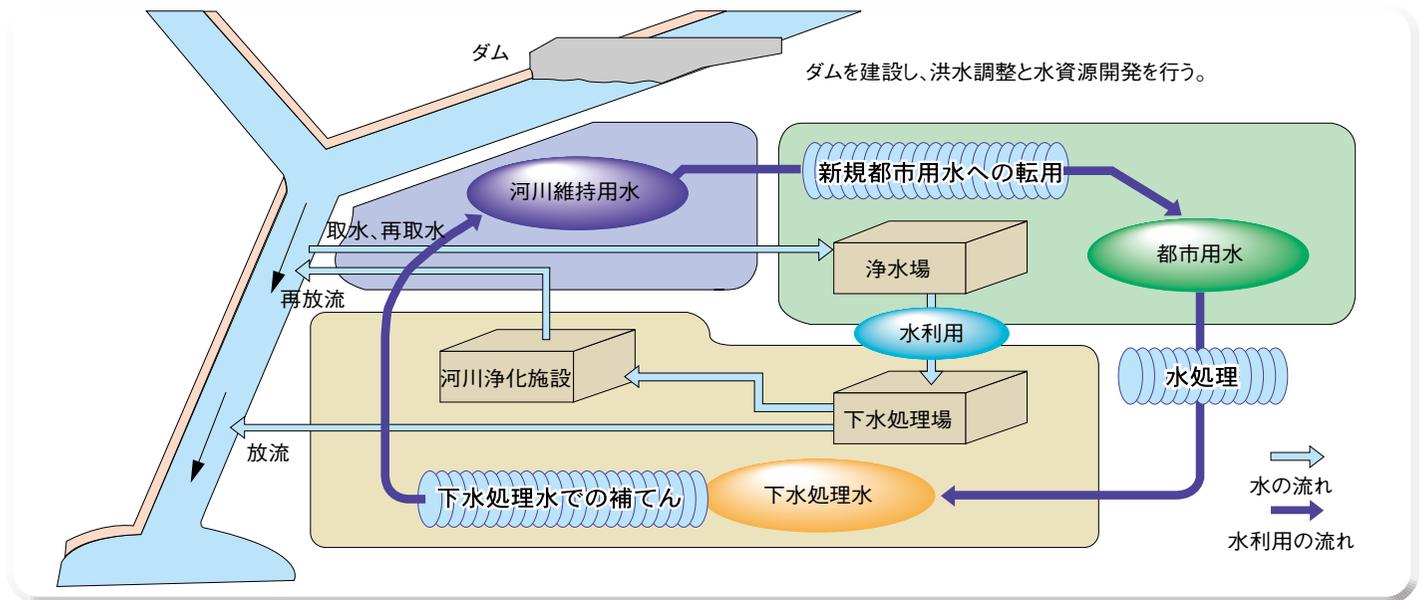
④ 流況調整河川事業

複数の河川において、河川流量が豊富な河川から流量の少ない河川へ導水するなど各河川間の流況を調整することにより、新規の水資源開発、不特定用水の補給などを行うとともに中小河川の内水排除などの治水対策を行います。



⑤ 水利用高度化事業

渇水時に下水処理水を高度処理して、河川の維持流量として再放流することによって、新規の水資源開発および河川の水質改善を行います。



⑥ ダム群連携事業

小流域で流入量が少なく容量の大きいダムと大流域で流入量が大きく容量の小さいダムを連絡水路で連結することにより、連絡水路を通じて無効放流を他のダムに貯留します。これより渇水時の河川流量の確保および河川環境改善の観点から、既存ダムを有効に活用することによって早期に水資源開発を行うことが可能となります。

